

函 博

令和6年(2024年)7月14日

報道機関各位

市立函館博物館

館長 熊谷 正

(公印省略)

シンポジウム「北方先住民族の交易と産物」開催に係る
報道について（依頼）

このことについて、下記のとおり開催しますので、取材・報道方よろしくお願
いいたします。

記

1 事業名

シンポジウム「北方先住民族の交易と産物」

2 開催内容

別添開催要項のとおり

3 ホームページ

<http://hakohaku.com/top/event/ivent/>

(連絡先)

市立函館博物館

学芸担当：大矢

(電話 0138-23-5480)

シンポジウム「北方先住民族の交易と産物」開催要項

- 1 事業名 シンポジウム「北方先住民族の交易と産物」
- 2 開催趣旨 市立函館博物館で開催する令和6年度企画展「北東アジアのシルクロードー北方交易と蝦夷錦ー」に関連し、北方先住民族間で行われていたサンタン交易と、蝦夷錦に代表されるその産物について、第一線で活躍する研究者が最新の研究成果を紹介することにより、市民の生涯学習推進に寄与する。
- 3 主催 市立函館博物館・国立アイヌ民族博物館
- 4 協力 中村和之（函館大学）
- 5 日時 令和6年8月17日（土） 13：30－16：00
- 6 会場 函館市中央図書館 視聴覚ホール
- 7 参加料 無料
- 8 開催概要 13:20 開場
13:30 主催者挨拶
13:35 基調講演「蝦夷錦を着た人たちー北方諸民族の間に残された絹織物ー」（国立アイヌ民族博物館 佐々木 史郎 館長）
14:20 研究報告「本州における蝦夷錦認識とその特徴ー道南との比較からー」（弘前大学 瀧本 壽史 特任教授）
■14:50-15:00 休憩■
15:00 調査報告「間宮林蔵が見た蝦夷錦の道ーアムール川と海峡部に残るものー」（ノンフィクション作家 相原 秀起 氏）
15:30 パネルディスカッション
15:55 主催者挨拶
16:00 終了
- 9 広報 広報用のチラシを作成し、博物館ホームページ等において周知するとともに、函館市企画部広報広聴課（市政はこだて）・その他各種報道機関に記事掲載依頼等を行う。

シンポジウム

北方先住民族の交易と産物

8/17 土

13:30 ~ 16:00

函館市中央図書館
1階視聴覚ホール

市立函館博物館の令和6年度企画展「北東アジアのシルクロードー北方交易と蝦夷錦ー」に関連し、北方先住民族間で行われていたサンタン交易と、蝦夷錦に代表されるその産物について、第一線で活躍する研究者が最新の研究成果を紹介します。



■ 基調講演

佐々木 史郎 氏 (国立アイヌ民族博物館 館長)

蝦夷錦を着た人たち

ー北方諸民族の間に残された絹織物ー



■ 研究報告

瀧本 壽史 氏 (弘前大学 特任教授)

本州における蝦夷錦認識とその特徴

ー道南との比較からー



■ 調査報告

相原 秀起 氏 (ノンフィクション作家)

間宮林蔵が見た蝦夷錦の道

ーアムール川と海峡部に残るものー

■ パネルディスカッション コーディネーター：田村 将人 (国立アイヌ民族博物館)

主催：市立函館博物館

国立アイヌ民族博物館

協力：中村 和之 氏 (函館大学)

お問合せ：市立函館博物館まで

市立函館博物館

HAKODATE CITY MUSEUM

040-0044 北海道函館市青柳町17-1

TEL 0138-23-5480 FAX 0138-23-0831

ホームページ <http://hakohaku.com/>

